

2026 年 1 月 7 日作成 第 7 版

研究協力をお願い

この度、当院において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

ベリタス病院 整形外科

記

研究課題名：	繰り返しの投球により生じる上腕骨および肩甲骨の形態変化に対する三次元解析
研究の目的：	繰り返しの投球による上腕骨および肩甲骨の形態変化の特徴を明らかにします。
研究の意義：	繰り返しの投球により上腕骨および肩甲骨に捻れなどの形態変化が起こることが知られています。しかし、その部位や方向などの詳細については十分に調査されていません。
研究の対象：	2007 年 10 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間に投球障害（肩関節唇損傷、肘内側側副靭帯機能不全や上腕骨離断性骨軟骨炎など）に対して手術療法を施行した患者さんと肩関節拘縮に対して手術療法を施行した患者さんを対象とします。
該当期間：	2007 年 10 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
研究の方法：	投球障害に対して手術療法を施行した患者さんと肩関節拘縮に対して手術療法を施行した患者さんを対象に、術前検査として撮影した両肩 CT 画像を用いて三次元解析を行います。画像データの三次元再構築を行い、非投球側（拘縮の患者さんでは非利き手側）の鏡像モデルと投球側（拘縮の患者さんでは利き手側）のモデルを重ね合わせ比較することで、繰り返しの投球による上腕骨および肩甲骨の形態変化を定量的に評価します。 既存情報の管理責任者：整形外科 病院長 嶋 洋明
研究期間：	研究実施許可日（2014 年 11 月 10 日）～2030 年 3 月 31 日

個人情報の利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

対象者の方を特定できないように対処したうえで、本研究の成果を学会や論文等で公表します。対象者の個人情報から個人を特定できる情報を削除して匿名化し、研究番号をつけて研究に利用させていただきます。匿名化された情報は、パスワードを設定した Excel ファイルをハードディスクに保存し、当院の鍵付きの保管庫で管理します。匿名化の際に作成した研究番号と個人を結びつける対応表は、当院にて保管されます。共同研究機関である当院からは、匿名化された情報のみが主管機関の大阪医科薬科大学に電子メールもしくは郵送にて送られます。電子メールで送付する場合は、パスワードを設定し、設定したパスワードは別メールにて送付します。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

〒666-0125 兵庫県川西市新田 1 丁目 2 番 23 号

ベリタス病院 整形外科

担当医師 嶋 洋明

TEL 072-793-7890(代表)

研究者名：

研究代表者 (研究責任者)：	大阪医科薬科大学 整形外科	特命助教	清水 博之
研究分担者：	整形外科	特別職務担当教員（教授）	三幡 輝久
研究分担者：	整形外科	大学院生 (ティーチングアシスタント)	野口 裕介
研究分担者：	整形外科	講師（准）	長谷川 彰彦

共同研究機関

研究責任者：第一東和会病院	整形外科	部長	森内 宏充
研究責任者：葛城病院	整形外科	医長	藤澤 幸隆
研究責任者：ベリタス病院	整形外科	病院長	嶋 洋明

※ 本研究で利用させていただく研究情報については、将来、別の研究に利用（二次利用）
させていただく場合があります。その場合は、改めて研究倫理委員会へ申請の上で、研究
を実施いたします。

※ 対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の
独創性の確保に支障がない範囲内で、本臨床研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲
覧できます。

※ ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申
し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出を
された場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加
拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予め
ご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒666-0125 兵庫県川西市新田1丁目2番23号

ベリタス病院 整形外科

担当者： 嶋 洋明

TEL： 072-793-7890（代表）